

決算特別委員会

- ◎ 開催日時 平成 28 年 10 月 24 日（月） 10 時 00 分～16 時 05 分
- ◎ 開催場所 議員室
- ◎ 説明員 宮川総合政策部長、日爪総務部長、大谷会計管理者、高砂企業庁長、
笹田病院事業庁長、北川代表監査委員および関係職員

◎ 議事の概要

- 1 委員席の指定について
- 2 審査日程について
- 3 議第 127 号 平成 27 年度滋賀県一般会計および各特別会計歳入歳出決算の認定を求め
ることについて
議第 128 号 平成 27 年度滋賀県病院事業会計決算の認定を求めることについて
議第 129 号 平成 27 年度滋賀県工業用水道事業会計決算の認定を求めることについて
議第 130 号 平成 27 年度滋賀県水道用水供給事業会計決算の認定を求めることについ
て
報 第 8 号 滋賀県基本構想の実施状況について
報 第 10 号 平成 27 年度決算に基づく健全化判断比率について
報 第 11 号 平成 27 年度決算に基づく資金不足比率について

(1) 決算概要

(2) 健全化判断比率および資金不足比率の報告

(3) 監査委員の決算等審査結果

(4) 滋賀県基本構想の実施状況報告

委員からは、毎年、本委員会において、監査委員からの指摘の内容を報告いただいているが、それを受けて各部局で具体的にどういった改善がされたのかお知らせいただかないと余り意味がないのではないかと、監査委員からの指摘で、入札などにおける人為的な手続ミスが上げられているが、このような形で入札中止となると業者にとってはこの景気の中で死活問題なので、その辺を深く認識して入札、契約事項の適正な執行をお願いしたい、などの意見が出された。

(5) 部局ごとの審査

【総務部所管分】

委員からは、県が 120 億円を超える未利用地を抱えている現状に鑑みて、財産管理を行う総務部として、未利用地の処分も含めた積極的な利活用の方策について、具体的の中長期的な目標を設定し積極的に取り組まれない、給与や人事管理システムについては、継続性が必要という理由で、繰り返し随意契約を締結していると思うが、他に代替できるものはないのかといった業務の性格や契約金額の妥当性も含めて、日々、十分に研究や点検を行っていただきたい、などの意見が出された。

また、委員から当局に対して追加資料の提出の要請があり、それに係る審議を改めて後日行うことと決定された。

【総合政策部所管分】

委員からは、「石田三成」発信プロジェクト事業や首都圏情報発信拠点PR事業において、例えば、観光面等でどれだけの経済効果があったのかという実利的な部分について、数字で出すことによって、目に見える形で費用対効果を示すことができるのではないか、人口減少や働き手の不足など、社会が縮小局面にあるにもかかわらず、基本構想の実施状況では、そうした状況を踏まえた実感や悲壮感が感じとれないことから、こうした社会情勢を鑑みて、基本構想を見直すべきではないか、などの意見が出された。



委員会で配付された資料

- 1 審査日程
- 2 平成 27 年度滋賀県歳入歳出決算概要説明書
- 3 健全化判断比率および資金不足比率の概要
- 4 滋賀県基本構想の実施状況
- 5 人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略の実施状況
- 6 滋賀県基本構想実施計画・人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略実施計画進捗状況
- 7 歳入歳出決算概要（普通会計）総務部
- 8 決算特別委員会部局別資料（平成 27 年度歳入歳出決算）総務部
- 9 平成 27 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）総務部
- 10 平成 27 年度長期継続契約締結結果（7 千万円以上）総務部
- 11 決算特別委員会部局別資料（平成 27 年度歳入歳出決算）総合政策部
- 12 平成27年度随意契約の結果（500万円以上の工事、物品、委託）総合政策部